

設計要領等の改定項目（案）

1. 調査・計画編

はじめに	1-	1
1章 総則	1-	5
2章 調査・対外協議	1-	11
2.1 調査	1-	11
2.2 対外協議	1-	12
2.2.1 道路	1-	12
2.2.2 鉄道	1-	13
2.2.3 河川	1-	13
2.2.4 その他	1-	15
3章 橋の形式選定	1-	16
3.1 橋の形式選定の基本事項	1-	16
3.2 橋梁計画の前提条件	1-	22
3.2.1 一般	1-	22
3.2.2 橋の重要度	1-	23
3.2.3 設計供用期間、設計耐久期間、作用の評価期間	1-	24
3.3 架橋位置特有の条件	1-	25
3.3.1 当該橋梁特有の選定条件を設定するための調査	1-	28
3.3.2 地震の影響に関する条件の設定	1-	30
3.3.3 維持管理に関する条件の設定	1-	31
3.3.4 施工に関する条件の設定	1-	32
3.3.5 景観に関する条件の設定	1-	32
3.3.6 示方書に規定がない材料等の適用条件の設定	1-	32
3.4 橋梁計画にて行うリスク評価と対応方針の設定	1-	33
3.4.1 リスク項目の抽出	1-	33
3.4.2 リスクの項目に対する対応方針の検討	1-	36
3.5 形式選定の手順	1-	42
3.5.1 基本条件の設定	1-	42
3.5.2 一次選定	1-	42
3.5.3 リスク評価と基本条件の追加	1-	42
3.5.4 二次選定	1-	42
3.5.5 比較条件の設定	1-	42
3.6 選定資料の作成	1-	43
3.7 段階的な更新	1-	57
3.8 橋の形式毎の特性及び留意事項	1-	58
3.8.1 一般	1-	58
3.8.2 鋼橋	1-	59
3.8.3 コンクリート橋	1-	66
3.8.4 複合構造を用いた橋	1-	72
3.8.5 下部構造	1-	75
3.8.6 基礎構造	1-	77

設計要領等の改定項目（案） 目次

		頁
4 章	道路橋示方書に橋や部材等に適用するにあたって性能の達成手段に関する具体的な規定がない材料等の扱い	1- 86
4.1	一般	1- 86
4.2	橋や部材等の耐荷性能の観点からの評価	1- 89
4.3	橋や部材等の耐久性能の観点からの評価	1- 93
4.4	検討結果と橋としての性能との関係づけに関する注意点	1- 94
4.5	多様な参考図書類の扱い	1- 95
5 章	設計図書に記載すべき事項	1- 96
2. 構造計画編		
はじめに		2- 1
1 章	総則	2- 2
1.1	設計一般	2- 2
2 章	上部構造	2- 8
2.1	鋼橋	2- 8
2.1.1	一般	2- 8
2.2	コンクリート橋	2- 16
2.2.1	一般	2- 16
2.2.2	プレストレストコンクリート橋	2- 18
3 章	上下部接続部	2- 21
3.1	支承部	2- 21
3.1.1	支承部の維持管理について	2- 21
3.2	遊間及び伸縮装置	2- 22
3.2.1	伸縮装置	2- 22
4 章	下部構造	2- 24
4.1	橋台	2- 24
4.1.1	橋台背面アプローチ部	2- 24
5 章	付属物等	2- 25
5.1	排水計画	2- 25
5.1.1	排水計画の留意事項	2- 25
5.1.2	維持管理性への配慮	2- 25

3. 共通仕様・標準編

はじめに	3-	1
1 編 上部構造			
1 章 鋼橋	3-	2
1.1 一般	3-	2
1.1.1 構造解析	3-	2
1.1.2 材料	3-	2
1.1.3 接合部	3-	6
1.1.4 防せい防食	3-	6
1.1.5 疲労	3-	7
1.2 床版	3-	7
1.2.1 一般	3-	7
1.2.2 コンクリート系床版	3-	7
1.2.3 鋼床版	3-	8
1.3 鋼桁及びコンクリート系床版を有する鋼桁	3-	8
1.3.1 一般	3-	9
1.3.2 フランジ	3-	10
1.3.3 腹板	3-	10
1.3.4 横構、対傾構	3-	10
1.3.5 補剛材	3-	11
1.4 構造細目	3-	11
1.5 施工	3-	12
2 章 コンクリート橋	3-	13
2.1 一般	3-	13
2.1.1 材料	3-	13
2.1.2 接合部	3-	14
2.1.3 防食	3-	15
2.1.4 疲労	3-	15
2.2 床版	3-	15
2.3 プレストレストコンクリート橋	3-	15
2.3.1 フランジ、ウェブ	3-	16
2.3.2 横桁、隔壁	3-	16
2.3.3 定着部	3-	16
2.4 鉄筋コンクリート橋	3-	16
2.5 施工	3-	16
3 章 複合構造橋	3-	20
3.1 一般	3-	20

設計要領等の改定項目（案） 目次

頁

2 編 上下部接続部

1 章 支承部	3-	22
1.1 一般	3-	22
2 章 落橋防止システム	3-	23
2.1 一般	3-	23
3 章 遊間及び伸縮装置	3-	23
3.1 遊間	3-	23
3.2 伸縮装置	3-	23
3.2.1 伸縮量	3-	23
3.2.2 積雪寒冷地における配慮事項	3-	24

3 編 下部構造

1 章 一般	3-	25
1.1 設計水位、浮力	3-	25
1.2 土圧	3-	25
1.3 側方移動	3-	25
1.4 地質調査	3-	25
1.5 構造細目	3-	25
2 章 橋台	3-	26
2.1 一般	3-	26
2.1.1 一般	3-	26
2.1.2 構造細目	3-	26
2.2 逆T式橋台	3-	27
2.3 ラーメン式橋台	3-	27
2.4 箱式橋台	3-	27
2.5 盛りこぼし橋台	3-	28
2.6 橋台部ジョイントレス構造	3-	28
2.7 パラペット	3-	28
2.8 ウイング	3-	28
2.9 橋台背面アプローチ部	3-	29
2.9.1 踏掛版	3-	29
3 章 橋脚	3-	30
3.1 一般	3-	30
3.2 鉄筋コンクリート橋脚	3-	30
3.2.1 一般	3-	30
3.2.2 構造細目	3-	30
3.3 鋼製橋脚	3-	30
3.3.1 一般	3-	30
3.3.2 鋼製橋脚の使用材料の留意事項	3-	30
3.3.3 構造細目	3-	31
3.3.4 鋼製橋脚と基礎の接合部	3-	31

設計要領等の改定項目（案） 目次

		頁
4 章	基礎構造	3- 32
4.1	杭基礎	3- 32
4.2	深礎基礎	3- 34
4.3	ケーソン基礎	3- 34
4.4	鋼管矢板基礎	3- 34
4.5	地中連続壁基礎	3- 34
4 編	付属物	
1 章	一般	3- 35
1.1	付属物等の前提条件	3- 35
2 章	排水計画	3- 37
2.1	排水装置	3- 37
2.1.1	排水樹	3- 37
2.1.2	排水管	3- 37
2.1.3	排水流末	3- 37
2.2	床版防水	3- 38
2.2.1	一般	3- 38
2.2.2	防水層の設計	3- 38
3 章	点検施設	3- 40
3.1	検査路	3- 40
3.1.1	一般	3- 40
3.1.2	目的	3- 40
3.1.3	配置計画	3- 41
3.2	吊金具	3- 43
4 章	防護柵	3- 44
5 章	中央分離帯転落防止網	3- 45
5.1	目的	3- 45
5.2	転落防止網の設置の考え方	3- 45
6 章	落下物防止柵	3- 46
6.1	分類	3- 46
6.2	設計条件	3- 46
6.3	設置箇所及び設置範囲	3- 47
6.3.1	設置箇所	3- 47
6.3.2	設置範囲	3- 49
7 章	橋歴版	3- 50

設計要領等の改定項目（案） 目次

頁

5 編 コンクリートの剥落に対する事前対策

1 章	はく落防止対策	3-	51
1.1	一般	3-	51
1.2	適用範囲	3-	51
1.3	はく落防止対策工の選定	3-	52
1.4	はく落防止対策工の評価	3-	52

付録1 新技術評価のガイドライン

1 章	総論	4-	3
2 章	共通編	4-	9

付録2	道路橋の耐久性の信頼性向上に関する研究	5-	1
-----	---------------------	----	---

付録3	コンクリート片落下防止対策の性能試験法（案）	6-	1
-----	------------------------	----	---